

～元監督官だから話せる“現場のリアル”と正しい労災対応セミナー～

## 『 監督署はここを見る！ 労災かくし発覚の仕組みと企業リスク管理 』

安全担当者・社会保険労務士が押さえるべき実務の最新ポイント

“その判断、送検にならないですか？”

労災かくしは、「意図的」よりも“うっかり”が圧倒的に多い——そして、それが送検される時代です。労災の取り扱いを一步間違えれば、労災かくし・送検・企業名公表という最悪のシナリオに直結します。しかも、内部通報・SNS・第三者通報により、どんな小さな事故も隠せない時代です。

また、事故報告の遅れ、曖昧なヒアリング、書面の不整合……こうした小さなミスが、監督署から見れば“隠蔽の疑い”として一気に炎上します。

本セミナーでは、現場を見てきた元労働基準監督官が、行政が「怪しい」と感じた瞬間、調査で必ず確認するポイント、そして企業が“やってはいけない対応”をリアルに解説し、労災対応を最前線で支える安全担当者と社会保険労務士に求められる“本物のリスク管理”を伝えます。是非、ご受講ください。

- 講師 尾形 賢一氏(元奈良労働基準監督署 署長)
- 開催方法 ハイブリッドセミナー(会場+WEB)
- 会場開催 令和8年1月27日(火) 13:30～16:30
- 見逃し配信期間 令和8年2月10日(火)～3月3日(火) (※申込者は全員視聴可能です)

## 【カリキュラム】

- |                           |                       |                  |
|---------------------------|-----------------------|------------------|
| 1. 労災かくしとは何か (法的定義・構成要件)  | ③企業イメージに対する影響         | ②仕組みで防ぐ          |
| ①労働安全衛生法 / 労災保険法における位置づけ  | 3. なぜ労災かくしが発生するのか     | ③記録・保存のポイント      |
| ②申請遅れと「かくし」の違い            | ①現場プレッシャー、評価制度の問題     | 5. 不適切な対応のリスク    |
| ③社労士と安全担当者の責任範囲           | ②受傷者側の「自己負担を避けたい」思考   | ①罰則、送検、企業名公表     |
| 2. 近年の送検事例 (傾向とポイント)      | ③正しい知識不足による“善意の隠蔽”    | ②労働基準監督署の捜査フロー   |
| ①どのようなケースが立件されやすいか        | 4. 実務対応 (これをやれば間違えない) | ③再発防止計画の立て方      |
| ②SNS・内部通報・メディアから発覚する事例の増加 | ①労災判断のチェックリスト         | 6. 元監督官が語るここだけの話 |

■会場 大阪長堀貸会議室 大阪市中央区南船場 1-11-9 (長堀安田ビル内) (長堀橋から徒歩2分)

■WEB Zoom

■受講料 11,000円 (税抜価格 10,000円)

【問合先】労働調査会 関西支社 担当：佐々木 大阪市西区阿波座 2-2-18 Tel. 06-6541-3045

受講申込専用 FAX 06-6536-6219

令和 年 月 日

受講者氏名	受講者氏名
(ふりがな)	(ふりがな)
※受講方法を選択してください	<input type="checkbox"/> 会場受講 <input type="checkbox"/> オンライン (Zoom) 受講

事業所住所	〒		
事業所名			
T E L		F A X	
E-mail	(必須)		